

スト 批准率 76.09% 闘争体制確立

北海道、全国平均上回る

自治労は、2月8～15日をゾーンとして、全車組で「年間を通して二波につき2時間を上限としたストライキを含む闘争体制」を確立する批准投票を実施した。その結果、76.09%の批准率で闘争指令権が確立され、闘争指令権を中央闘争委員会に委譲することを

決定した。道内の批准率は、昨年に比べ、1.2ポイントアップし76.13%となり、全国平均を上回った。当面、3月17日を全国統一行動日とし、前進回答を引き出すことをめざす。



時間外職場集会を行い春闘方針を議論＝苫小牧市職労



アンケート集約を行なう後志地本

2015年の人勤における地域手当への配分に引き続き、昨年も地方公務員にはない本府省業務調整手当に配分し、給与制度の総合

今春闘は、「賃金の改善」「地方財政の確立」によりよい地域医療・福祉の充実「格差是正と公正なワークルールの確立」の4点を重点課題に、2月24日を集中提出日とし、既に要求書が提出され、3月7～16日を重点交渉期間に、3月17日を対自治体闘争統一行動日に設定し、精力的に交渉が行われることとなる。

「自治体最低賃金」を確立し、月給15万5800円、日給7790円、時給1000円以上の確保を打ち出すとともに、雇用安定を含めた運動をすすめる。

また、過重労働解消に向け、時間外労働や休日出勤などの実態把握を行い、当局側に業務効率や軽減策を検討・実施させるなど使用者責任を追究し、業務量に見合う人員配置や長時間労働の是正に向け取り組み。3月6日の回答指定日以降、全道で交渉が繰り広げられる。組合員としっかり向き合い、要求実現・組織強化に向け取り組みを強化しよう。

全国消防協に加盟



定期大会で消防協加盟を決定

2月21日、足寄消防研究会が2017年度定期大会を開催し、全国消防職員協会への加盟を決定した。足寄消防研究会は、2010年11月に足寄町職労、釧路地方ブロック消防協の協力により発足し、職場環境の改善やより良い消防行政に向けた学習と職員協議を行ってきた。

当時、消防協への加盟を見送ってきたものの、2016年4月より「とかち広域消防組合」として十勝管内の消防職場が一本化されたこともあり、今後は消防業務のみならず職員の処遇や身分など不明な状態を解消していくために全国・全道の消防職員との交流・学習が不可欠であると考え協議会への加盟を確認した。

足寄消防研究会

2月21日、足寄消防研究会が2017年度定期大会を開催し、全国消防職員協会への加盟を決定した。

地方の借金である臨財債が増える内容であり、アベノミクスが全くうまくいっていないことは明らか。イメージを先行させ、国民に虚構を振りまいて来た安倍政権の限界が見える。

手には言いふらし、都合の悪いことは答弁しない。この共謀罪に対する対応に、安倍政権の本質が現れる。現在政府が提案中の来年の地方財政は、繰越財源がない上、国税収入が減り、

政府は、共謀罪に関し、一般の方は対象にならず、以前の共謀罪とは全く別のもので断言している。しかし、その理由を問うと答弁はできないという。政府にとって都合の良いことは勝

2017国民春闘日程

- 3月6日 回答指定日
- 3月9日 春季生活闘争勝利！全道総決起集会
- 3月7～16日 重点交渉期間
- 3月17日 対自治体闘争統一行動日

JICHIRO スケジュール

- 3月 3日(金) 人事院北海道事務局長交渉(札幌市)
- 4日(土) 3.8国際女性デー北海道集会(札幌市・自治労会館)
- 9日(木) 2017春季生活闘争勝利！全道総決起集会(札幌市・市民ホール)
- 11日(土) 原発事故から6年フクシマを忘れない！さよなら原発北海道集会(札幌市・共済ホール)
- 11日(土) 自治労全道病院集会(札幌市・自治労会館)

道本部ホームページ

自治労北海道 組合員専用ページは
ユーザー名: minnade
パスワード: danketsu2013

忙中余話

線路の半分を廃止したいとJR北海道。東日本の本社は、役員や技術開発などの協力はするが財政支援は困難と、道新インタビュー。分割して別会社になり株主ファーストの経営をしている民間企業が、不採算部門を抱えるわけがない。しかし三〇年前のたたかいを知るオヤジの酔席では、「この際、全国一社に戻せ！」とか「せめて東日本と合併だと盛り上がる。地域や国民を大事にしない政治はつくづく罪深い。土台が無理な話だ、広域分散・積雪寒冷の北海道で鉄道を自前で維持なんて。国鉄分割・民営をやった奴らを放免するな！いざオー！北海道で国に攻め上がった！と、酔っ払いオヤジは立ち上がる。がそこに「JR北海道にはさらなるコスト削減、経営改善を求めたい」と我が知事様のコメント…。あーあ、こちらも負けずに罪深い。(北酒場)

2017春闘

「要求実現」に向け取り組み進む



国会請願行動を実施し賃金格差是正を訴える

2月に開催した道本部第124回中央委員会で、3月17日を対自治体闘争統一闘争日とする春闘方針を決定した以降、具体的な取り組みがスタートしている。単組段階では、職場集会や全体集会を開催するなど要求を掘り起こし、組合員の声が集約されている。また、多くの単組で学習会が開催され春闘の意義やたたかう意思統一がはかれるなど、多くの組合員が春闘に結集している。今後、単組・中央段階での交渉が配置されていくが、全国統一闘争に結集し、取り組みを強化していく。

町村職 賃金格差是正訴える

2月17日、東京都・よみうりホールで「第38回全国町村職総決起集会」が開かれ、47県本部・757人、北海道から143人(うち女性30人)が参加した。山本・全国町村評議長は、賃金闘争の取り組みについて「自分たちの賃金や労働条件などがどうなっているのか、学習や議論を重ね課題化することで、春闘期の統一要求や単組での独自要求につながる」と取り組めない理由ではな

く、どうしたら取り組むことができ解決につながるのかを組合員と向き合い運動を構築しよう」と訴えた。川本中央執行委員長は「2017春闘がスタートした。経団連は年収ベースでの引上げ、連合は月例賃金を引上げるべきと論争している。また、働き方改革に伴う長時間労働の是正議論が経営者側の都合の良い議論で展開されている」と情勢を述べたうえで、「1年間の賃金闘争のスタートが

春闘であり、全単組が要求書提出・交渉していくことを徹底し1年間たたかい抜こう」と述べた。

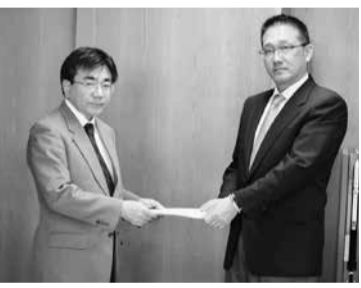
その後、徳永・自治労本部労働局長が「おかしさに気づき、いかに正すか」と題して講演し、「おかしさ」を『怒り』に変えて各種闘争を取り組まなければ、運動は前進しない」と問題提起があった。

集会終了後、「町村職員の賃金格差是正などを訴えるデモ行進および国会請願行動を実施した。

道、市長会、町村会 道本部が要求書を提出



道市町村課に要求趣旨を説明



要求書を提出=和田副委員長(右)

道本部は、2月23日、北海道、市長会、町村会へ「自治体労働者の賃金・労働条件に関する重点要求書」と「男女平等社会および職場における男女平等の実現に

長時間労働の是正求める

道本部は、2月23日、北海道、市長会、町村会へ「自治体労働者の賃金・労働条件に関する重点要求書」と「男女平等社会および職場における男女平等の実現に

「地域医療・福祉の充実」を重点課題に加えている」として対応を求めたうえで、「人事院は昨年、3年連続の給料表や一時金の増額改定勧告を行ったが、一昨年に引き続き、地方公務員にはない手当に配分し、『給与制度の総合的見直し』と同様、地方公務員給与の低位平準化・自治体賃金の地域

間格差が進んでいる。さらに、総務省は、勧告の取り扱いについて『国に先んじて給与改正を行うべきではない』とした通知を出すなど、自治体の自主性と労使交渉による賃金決定を阻害する」と指摘した。また、「働き方改革」について「働きやすい環境をつくる制度でなければならぬ。長時間労働が問題となっているが、自治体も同様である。業務量に見合った人員配置・管理職の時間管理・責任が問われる」とし、非正規の処遇改善なども含め適切な助言を求めた。

参加者の声

強い思い肌で感じる



七飯町労連 中野翔太さん

非常に大勢の仲間たちが一堂に会し、ともに行動することによって、組合の強い団結力や強い思いを肌で



全国町村評議長を担う山本道本部財政局長

感じる事ができた。また組合活動の意義についても更に理解を深めることができ、とても勉強になった。同じ志を持つ仲間たちと今後ともに団結してたたかっていく。

学習・交流が大切



様似町職 樋口葵惟さん

奈良県本部平群町職の闘争経過報告を聞き、普段からの交流や学習の重要性、単組の組織強化が大切だと感じた。デモ行進と国会請願行動では、組合員や国会議員の方々とシュプレヒコールを起したことで、より強い結束力を感じることができ、大変良い経験になった。集会に参加でき勉強できたことに対し職場の仲間感謝する。



働くことを軸とする安心社会をめざす

2月4日、登別市で、連合胆振地協2017春季生活闘争討論集会が開かれ、76人が参加した。集会は、連合北海道より春季生活闘争をめぐる情勢と方針について「働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、今春闘をたたか

地域からたたかいつくる

2月4日、登別市で、連合胆振地協2017春季生活闘争討論集会が開かれ、76人が参加した。集会は、連合北海道より春季生活闘争をめぐる情勢と方針について「働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、今春闘をたたか

お」と提起があった。産別報告では、北海道旅客鉄道労働組合よりJR北海道が抱える、維持困難な線区についての現状報告。全開発労働組合から春闘に向けての決意表明があり、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」格差是正を取り組み、4年連続の賃上げの実現と中小企業労働者や非正規労働者の処遇改善、長時間労働撲滅など働き方の見直しを進め、地域からたたかいつくるべきだと訴え、要求実現に向け取り組みを強化することを確認した。

組合員が春闘に結集

後志地本14単組で学習会

後志地本では今春闘期、一人でも多くの組合員が春闘に結集してもらうことを目的に、全単組に対して学習会の開催を呼びかけ、14単組が実施する。その一環として、2月14日、共和町職で、道本部大出執行委員長を講師に、春闘に関する学習会を開き、43人(うち女性16人)が参加した。



共和町職で大出委員長を講師に学習会

春闘から組織強化を

2月15日、新ひだか町職が、執行部・青年部を対象に単組の組織強化をどう進めていくか学習会を開いた。学習会では、自治労組織の現状や課題、組合役員の固定化や執行委員会に結集できていない単組の現状を共有した上で、組合員に日頃の活動を見せる取り組みとして単組機関紙作成の工



新ひだか町職で「組織強化」について議論

現場の思いを要求書に

松前などでん荘職員組合は、2月13日、春闘要求を確認するため、全体集会を開き41人が参加した。当該組合は、基本給の定期昇給が実施されないことに執行部が疑問を感じたことがきっかけに、3年前から春闘期に要求書提出、団体交渉の実施、労働協約締結の取り組みを始めた。

夫や、集会やレクの開催方法を検討することなど、「一人でも多くの組合員が単組活動に参加する体制」にむけて議論が行われた。一方組合員同士の日頃からのつながりが希薄になっている現状が明らかになった。組合員アンケートや、職場実態に基づいた独自要求はこれまでも行っていることから春闘をはじめ闘争期に職場・組合員が抱える「超過勤務」の課題に取り組むなど、組織強化をはかることを検討した。



松前などでん荘職員組合が全体集会開く

を作成。全体集会で組合員から意見を聴取し、内容を豊富化して春闘要求書を決定したうえで、要求書提出日、回答指定日、団体交渉期間など闘争スケジュールを確認した。最後に団結方ンパローで春闘を取り組む決意を固めあった。

青年の思い「団結ポケマット」に

春闘は、賃金闘争の出発点であり、春闘での取り組みの成果や課題を確定闘争へつなげる、重要なたたかきである。「ゆずれない要求」を勝ち取るためには、「一人の100歩より100人の1歩」といわれるように「役員任せ」「基本組織任せ」にすることなく、組



名寄市職労青年部が団結ポケマットを作成

自ら立ち上がる重要性再認識

昨年10月20日に組合を結成した釧路市生活福祉事務所嘱託職員ユニオンが、2月20日、雇用期限延長など7項目の独自要求について、初めての労使交渉を行った。

交渉には、多くの組合員が参加し、粘り強く自分たちの声を当局にぶつけた。結果として雇用期限延長を勝ち取るには至らなかったが、厳しい環境下で業務を行っている実態を認識させ、職場改善への具体的な回答を引き出すことができた。また、処遇改善に向けた



釧路市嘱託職員ユニオンが初めての交渉

現業公共交通「制度・政策要求」自治体の行政責任を問う

現業に関する制度・政策要求を進めるにあたり、札幌市労では自治研活動として取り組んでいる。清掃職場では、地域の子どもたちに「環境教育」の一環として、模擬廃棄物の収集作業の体験。また、小学校を貸し切って災害避難の実践体験を実施している。

札幌市労は、函館交通労の公共交通職場では、停電



災害避難 子ども学習会・実践体験



模擬廃棄物の収集作業体験

「自治体の行政責任」をどう担保するのか、委託業務について違法性はないのかなど様々な観点で議論することが、住民サービスの向上に繋がる。全単組で現業公共交通職場に関わる制度政策要求書を出し、よりよい地域公共サービスを守り、充実させよう。

富良野市労連 よりよい医療・福祉の充実をはかる

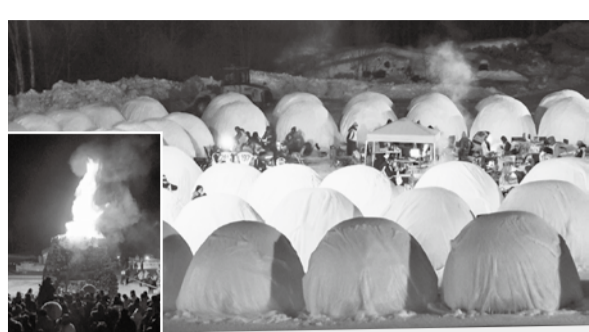
富良野市労連では、例年同様、「臨時・嘱託職員の賃金・労働条件の改善に関する要求書」を2月24日に当局へ提出し春闘をたたかう。この間の職場オルグを通じて、児童館を支える児童厚生員の募集をしても応募がない状況だということが明らかとなった。児童館等

では専門的知識や経験を有する職員が求められているが、その職場のほとんどが臨時・非常勤の仲間を支えられている。自治労の調査でも、非正規職員の占める割合が学童保育では80%。年収で見ると200万未満が全体の約70%と生活するための十分な賃金を得られていないことが明らかになっている。不安定で低賃金な待遇にも

かかわらず、対人サービスとしての高いスキルを要求され、重い責任を負わなければならない職場実態にある。さらに受け入れ対象が高学年まで拡大されたため、児童数は増加の一途をたどっていることから抜本的な改善が求められている。臨時非常勤の仲間の処遇改善で、よりよい医療・福祉の充実をはかり、働く者と職場を守る。

陸別町

まち



氷のかまくら「パルーンマンション」とファイヤーストーム「命の火」

なまらしばれる！-20℃体験

真冬の平均気温・平均最低気温が全国のアメダス(富士山を除く)で最も低く、町内の関地区で-40度を下回り計測不能となったこともある名実ともに「日本一寒い町」であり続ける陸別町。

その寒さをめいっぱい楽しもう！と毎年2月に「しばれフェスティバル」が開かれて今年で36回目となりました。真冬の花火大会や乗馬体験など家族で楽しめるアクティビティもありますが、中でも、メインイベント「人間耐寒テスト」には全国から300人がチャレンジ！

ルールは、21時の開会式から翌朝7時までの10時間、会場内で過ごすだけという非常にシンプルなもの。しかし、宿泊場所は-20度の氷のかまくら『パルーンマンション』。火気・暖房器具は使用禁止。挑戦者に唯一許される暖は『命の火』という巨大なファイヤーストームのみ。逃げ出さず、無事に朝を迎えられた者だけが認定証を手にとります。今年のみごと！252人が無事に朝を迎えることができました。

氷のかまくら制作には、町民ボランティアや町職員が毎晩交代で出動し、約1カ月かけて100基を目標に作るのですが…作る側も実は大変なんです。ですが、楽しみにしていただく全国からの挑戦者を迎えるため、一致団結して制作しています。来年も多くのチャレンジお待ちしております。(陸別町職 水間 倫)



改憲・加憲の危険性を訴える清末准教授

2月11日、札幌市で「第40回紀元節復活反対2・11道民集会」を開き、約200人が参加した。

集会は、「今、日本国憲法の危機／基本的人権・平和主義があぶない」と題し、室蘭工業大学大学院の清末愛紗准教授から講演をうけた。清末准教授は憲法学の平和主義について説明をし、

また、緊急事態条項の加憲と憲法24条の改憲に触れ、「この二つは一連のもの。異議・不満が出ないようにするために家族での助け合いの下で監視し、国家・社会全体を統制し、民衆が異議を唱えない国家を作ろうとしている。私は法律学者の一人として、人権をベースとする平和の構築のための理論形成に貢献していく」と訴えた。

第50回全国青年団結集会



労働歌「インターナショナル」を合唱した

2月18～19日、香川県で「第50回全国青年団結集会」が開かれ、全体で約500人、うち北海道から29人(自治労から18単組総支部24人)が参加した。

基調講演では、松上月刊労働組合編集長から、17春闘の最大の課題は「デフレ脱却。労働組合が賃金底上げ・賃上げを勝ち取るのが重要だ」と話された。集会を通して、労働者が『もう限界だ』と声に出し、本気で改善を要求すること、仲間と話し職場・単組・地域で行動する決意を全体で確認した。

あいはらくみこ後援会 総会・国政報告会



2月10日、あいはらくみこ北海道連合後援会は、札幌市で2017年度総会・国政報告会を開いた。あいはらさんは「今国会では、労基法改正、労働法制の改悪、国民への治安体制の強化を目標とする共謀罪の新設など、憲法改悪に向けた動きがますます強まっている」と述べ、一強多弱の政治状況を変えることの必要性を訴えた。

“狙われる”新社会人



今週中といわれても、困った。ファイナルされた保険の設計書を持ってきて、「これは、20代の男性向けに開発された保険。がんや生活習慣病など医療保障が充実している」などと、説明が繰り返され、断るよう話したところ、困った顔で「アンケートでもらったボールペンや手帳はすでに使っているんだけど、どうしたら…」と。当然ながら、プレゼントされた物は返す必要はありません。勇気を持って「申込みしません！」と伝えたいだけのことです。

保険の設計書作成に必要なのが生年月日と氏名。その情報欲しさにプレゼントを餌にアンケート記入させるのです。そんな営業にまんまと乗らないように気をつけましょう。

ファイナンシャルプランナー 須藤 臣 さん

北海道銀行、大手不動産会社勤務の後、1996年からファイナンシャルプランナーとして事務所開設。講演、執筆、個人相談(3,000件以上の実績)など多方面で活動中



「ちょいどき」
動くもの
ライフ&マネー③

そろそろ、就職したての新社会人が生命保険のターゲットになる季節がやってきます。23歳Aさんのケースを紹介しましょう。社会人になって間もない昼休みのこと。生命保険会社のセールスレディから「入社おめでとうございませう。アンケートでもれなくプレゼント差し上げます！」と言われたので、住所、氏名、生年月日、趣味などを記入しました。